

# 合同ゼミの感想と反省

木村俊之・高橋覚・丹羽令香  
大和丈士・久永祐馬

## 1. 合同ゼミの準備に関する感想と反省

今回の合同ゼミを行うにあたって、前期の終わりから少しずつ準備を始めていきました。というものの夏休みに入ると、まったく準備はせずに後期が始まる1週間前に現地(福島県会津若松市)へ行き、商工会議所の方や市役所の方から参考資料を頂き、お話を伺うことができたので、準備としては大変スムーズに進めることが出来ました。ここでの反省点は、現地へ行くときには予め行くということを現地の方へ伝え質問内容などをまとめておけばよかったと思っています。後期に入ると、ゼミ以外ではグループ全体で集まることがあまり出来なかったため、個人作業中心になってしまったことが大きな反省点です。もう少し集まって意見を言い合う時間を作ればよかったと思っています。

## ○当日の報告内容とそれに対する質疑の概要

私たちは JAPAN ブランドという中小企業庁が企画している地域ブランドについての報告を行いました。私たち東洋大学は会津塗について調べ、相手の駿河台大学の皆さんは今治タオルについて調べ報告し合いました。他の二議題とは違いディベート形式ではなかった為、それぞれの地域ブランドがどのようなブランド展開をしているのかを純粹に報告しあう形になりました。普段生活しているとあまり馴染みのない伝統工芸品についての報告ということで、どうすれば初めて聞く人にわかりやすく伝わるかというわかりやすさを追求したプレゼン内容になりました。自分たちがよく理解していないと聞く手にも伝わらないということでプレゼンについての原稿などは用意せずに自分の言葉で話すということを重視しました。結果としてはわかりやすい報告が出来たかと思っています。対する駿河台大学の皆さんの発表はとても詳しいデータなどを用い、詳しいプレゼン内容だったと思います。JAPAN ブランドという企画は地域を拠点に世界へその商品を発信していこうということが両グループの発表の主な内容でした。質疑の概要についてですが、両グループの詳しい事業内容や今後の展開についての内容になっていました。

## 3. 合同ゼミに対する感想と反省

今回の合同ゼミは全体的に良く出来たと思います。先生のアドバイスに頼ってしまったといのは反省点になりますが、その結果いい内容のプレゼンが出来たかと思っています。そして何より会津若松市の商工会議所や市役所の商工課にお話を伺いに行ったことは大変良かったと思います。やはり実際に現地の方のお話を伺うことは勉強になりました。聞き手にわかりやすく伝えるというプレゼンの原点について考えられたので良かったと思っています。